

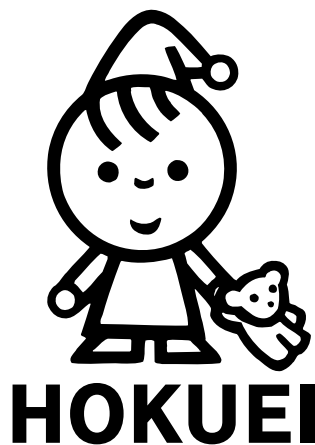


電気蓄熱暖房器

「暖吉くん」
UHS IIシリーズ
(UHS II-2450～4450)

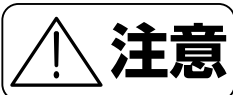
取扱・据付説明書

- ★この度は、「暖吉くん」UHS IIシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- ★お使いになる前に、必ずこの取扱・据付説明書をよくお読みください。
- ★お読みになった後は、大切に保管してください。



目 次

【1】はじめに	1
必ず守っていただきたいこと	
安全にご使用いただくために	
【2】「暖吉くん」の仕組みと特長	3
【3】構造と各部の名称	4
【4】操作方法	5
4-1 暖房ヒーター運転	5
4-2 蓄熱運転	5
4-3 暖房運転	6
【5】故障かな!?と思ったら	6
【6】据付	7
6-1 据付時の注意事項	7
6-2 据付順序	7
6-3 据付位置決め	8
6-4 電源の接続	9
6-5 蓄熱レンガの組込	9
6-6 本体の固定（転倒防止ネジ取付）	11
6-7 チェックリスト	12
6-8 試運転	13
【7】補足説明	14
7-1 安全装置	14
7-2 電気回路図	14
【8】点検・お手入れ、アフターサービス	15
【9】標準仕様	16



注意

1 はじめに

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



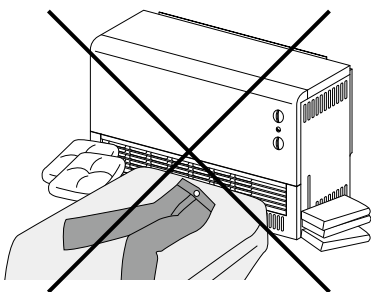
△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



×記号は禁止の行為であることを告げるものです。



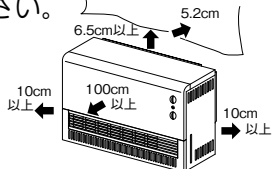
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



温風吹出口や吸込口を塞いだり、近くに燃えやすいものを置かないでください。

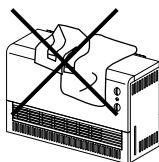
(火災や故障の原因となります。)

カーテン等の燃えやすいものの近くで使用しないでください。



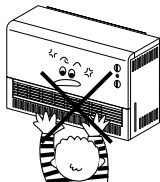
(必ず決められた離隔を取ってください。取らない場合、周囲のものが変形、変色する原因となります。また、火災の原因となります。)

暖房器の上に衣類やふとん等の燃えやすいものを置かないでください。



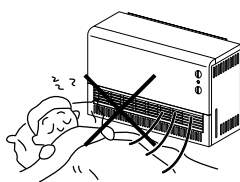
(火災の原因となります。)

暖房中は、操作部以外には触れないでください。



(特に、吹出口付近は高温になるため、触れるとやけどの恐れがあります。)

温風吹出口のすぐ前で寝込まないでください。

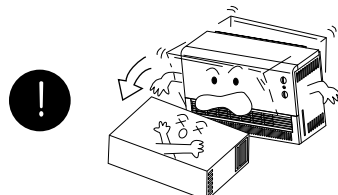


(低温やけどや脱水症状を引き起こす恐れがあります。)

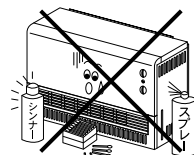
必ず守っていただきたいこと

**警告**

地震がおき、万が一、暖房器が転倒した場合、転倒時電源遮断スイッチにより電源が遮断されますが、念のため本体には触れずにブレーカーを「OFF」にしてください。(100V・200Vともにブレーカーを「OFF」にする。一部の暖房器の100Vはコンセントから抜く。) また、すみやかに販売店または工事に連絡してください。

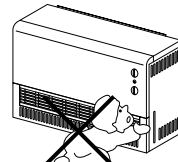


暖房器の周辺にスプレー缶や可燃物を置かないでください。



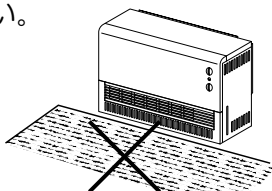
(火災の原因となります。)

乳幼児や自分で温度調節できない方には、付き添いなしで使用させないでください。また暖房器に近づけさせないでください。



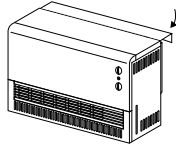
(操作部以外をさわるとやけどの恐れがあります。)

じゅうたんは吹出口から10cm以上はなしてください。



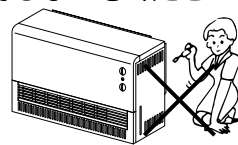
(火災の原因となります。)

地震等による転倒を防止するために、付属の転倒防止ネジを据付説明に従い取付けてください。



(揺れの大きさによっては、暖房器が転倒することがあり、けがの原因となります。)

分解したり修理・改造は絶対しないでください。

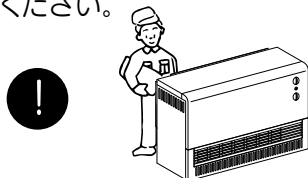


発火、感電、やけどの原因となります。暖房中、暖房器の内部は約600℃の高温になり非常に危険です。(修理は販売店または当社へご相談ください。)

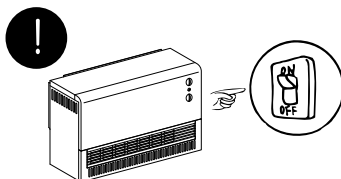
安全にご使用いただくために

⚠ 警告

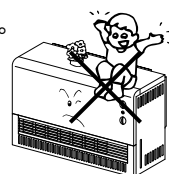
据え付け工事は、必ずお買い上げ販売店または専門業者（電気工事士）に依頼してください。



電気蓄熱暖房器それぞれ単独にブレーカーの取り付けが必要となります。

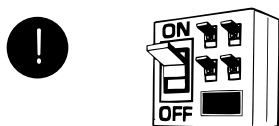


暖房器の上に物を載せたり、腰をかけたりしないでください。

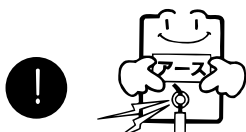


（パネルが変形すると部分的に温度が上昇し、故障の原因となります。）

ブレーカーは定格容量（アンペア）以上のものを使用してください。

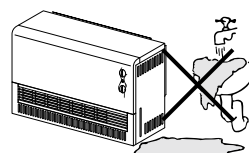


アース線は必ず接続してください。



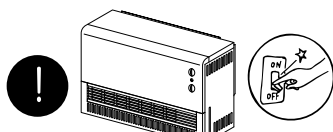
（取り付けられていないと、感電や故障の原因となります。）

湿気の多い（水のかかる恐れのある）場所で使用しないでください。



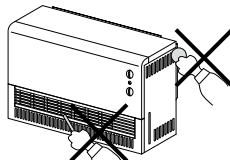
（感電や故障の原因となります。）

点検や修理をご依頼された時には、必ずブレーカーを「OFF」にしてください。



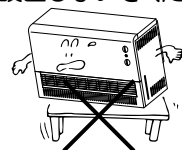
（感電の恐れがあります。）

暖房器の中に硬貨などの金属や異物を入れないでください。



（感電や故障の原因となります。）

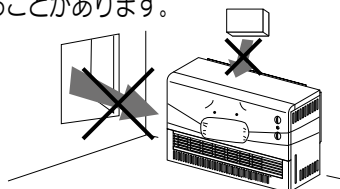
カーペット、ビニール系床材、畳の上等の不安定な場所には直接設置しないでください。



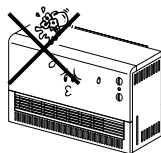
（転倒・故障・火災等の原因となりますので、必ず敷板、板畳等の加工を施した後、設置してください。）

⚠ 注意

暖房期間中は換気扇等を連続運転したり、換気孔や窓を開け放しにしておくと熱が奪われ、蓄熱量が不足することがあります。

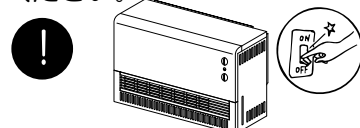


水をかけたり、お茶等をこぼさないでください。

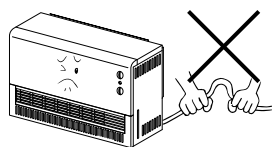


（故障や感電の恐れがあります。）

長期間で使用にならない場合や、動作しなくなったり異常がある場合は、必ずブレーカーを「OFF」にしてください。

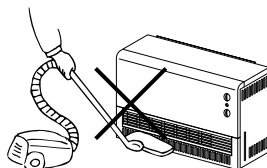


電源コードを引張ったり、折ったり、無理に曲げたりしないでください。



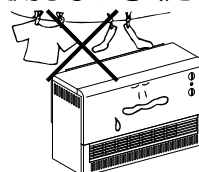
（感電や火災の恐れがあります。）

暖房運転中は掃除機等で吸込口、吹出口を吸込まないでください。



（故障の原因となります。）

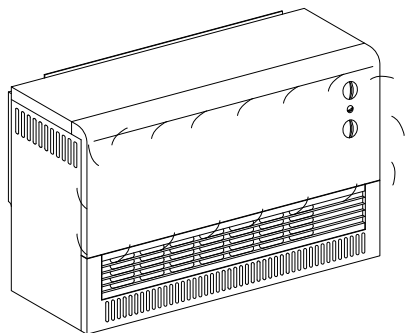
暖房以外（乾燥等）の用途には使用しないでください。



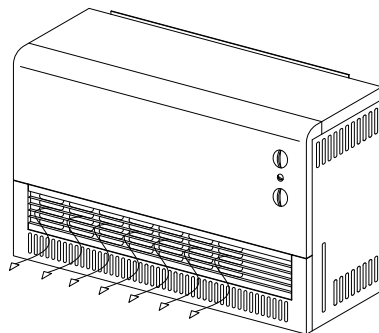
（この暖房器は居室を暖房する目的で製作された製品です。これ以外の用途では使用しないでください。）

2 「暖吉くん」の仕組みと特長

「暖吉くん・UⅡシリーズ」は、融雪電力を利用して、蓄熱レンガに蓄えた熱と通電中は暖房ヒーターでお部屋を暖房する「電気蓄熱暖房器」です。電気蓄熱暖房器は、火を使わず室内の空気を汚さない、安全でクリーンな暖房器です。



蓄熱



暖房



電気エネルギーだから、とても安心。

熱源は、電気エネルギー。燃料切れや燃料漏れによる火災の心配がありません。空気を汚さないのおおかけや、おやすみの時も安心です。



カンタン操作で、お部屋はスグにぽかぽか。

室温や蓄熱量の設定ダイヤルをはじめファンの切替もすべて前面操作でワンタッチ。かんたん操作でお部屋をすばやく暖めます。



ムダ、ムリ、ムラがなくボクは経済的。

断熱性能がよく、自然放熱を抑えています。春・秋、季節の変わりめでも快適にご使用いただけます。ムダな電気代がかからず経済的です。



いつまでも続く陽だまりのようなあたたかさ。

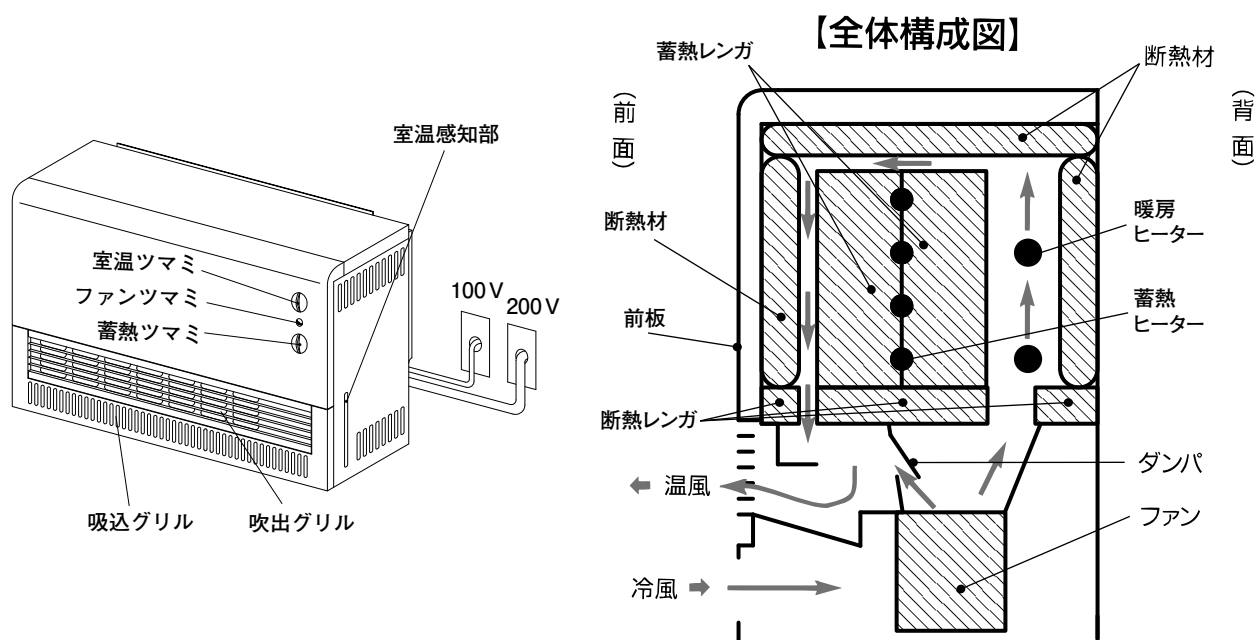
ほのぼのとうれしい蓄暖ならではのマイルドなあたたかさ。一日中陽だまりのような心地良い暖かさがあなたをつつみます。



お部屋を選ばないカドがとれたまあるい性格。

コーナー部分を丸くしたバランスのよいデザイン。さらに和・洋室どちらにも溶け込むよう清潔なホワイト系を採用しました。

3 構造と各部の名称



蓄熱ヒーター：レンガに熱を蓄えます。

暖房ヒーター：ファン強の設定で暖房運転を行なった場合のみ通電します。

付属品

機 種	蓄熱レンガ数量	壁取付用 木ネジ
UHS II -2450	6ヶ (3パック)	2本
UHS II -3450	8ヶ (4パック)	3本
UHS II -4450	10ヶ (5パック)	3本

4 操作方法

本暖房器は、通電中暖房ヒーターですぐにお部屋を暖房する機能（4-1）と、蓄熱レンガに蓄えた熱を利用してお部屋を暖房する機能（4-2および4-3）があります。はじめに200V電源のブレーカーが「ON」になっていることをご確認ください。（ブレーカーの場所等については事前にご確認ください。）

4-1 暖房ヒーター運転

室内温度を設定し、ファン「強」の設定で暖房運転を行なった場合のみ通電し、暖房することができます。

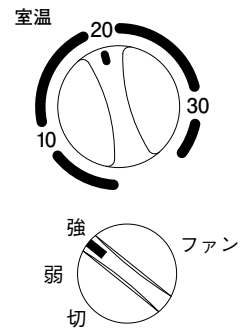
①室温の設定

「室温」ツマミをお好みの室内温度に合わせてください。

②ファンの切替

「ファン」ツマミを「強」に合わせます。

※蓄熱ツマミが「切」の時は、暖房ヒーターのみ運転します。



4-2 蓄熱運転

蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。

蓄熱される場合

蓄熱量の設定によっては、ご購入後初めて蓄熱された際に特有のにおいや水滴が出る場合がございますが、異常ではありません。

・においについて

においが気になる場合は、一度蓄熱量を「中」以上でご使用ください。においは数日で消えます。

※2シーズン目以降は、初蓄熱時のような特有のにおいは出ません。

・水滴について

初めから蓄熱量「大」で運転されますと内部から蒸発音が聞こえたりファン運転をすると水滴が落ちる場合がございます。これは湿気をレンガ・断熱材などが吸湿するために生じる現象であり、故障ではありません。

初めて蓄熱する場合やシーズン始めは、蓄熱量を「小」に設定して、蓄熱しながらファンを「強」に設定して運転することにより、暖房器から水が出てくる現象をおさえることができます。

蓄 熱 量		
目盛	設定の目安	蓄熱の割合
大	真冬	100%
中	初春・晩秋	60%
小	春・秋	20%

①蓄熱量の設定

「蓄熱」ツマミで、蓄熱量を設定します。

※ツマミの調整により蓄熱量を無段階に調整できます。

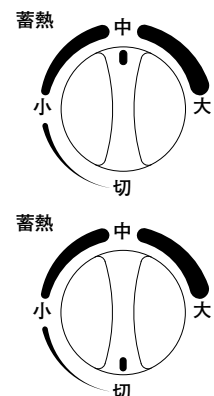
小〜大まで季節に合わせて設定してください。

（上の表を参考に設定してください。）

②蓄熱の停止

蓄熱を停止する場合は、「蓄熱」ツマミを「切」の位置まで回してください。

※長期間停止する場合は「蓄熱」ツマミは「切」に合わせ、その後200Vブレーカーを「OFF」にしてください。



4-3 暖房運転

- ①室内温度を設定するとファンが運転し、蓄熱した熱を利用して暖房を行ないます。
暖房運転を行なう場合は、ファンの設定を「弱」か「強」のどちらかに設定してください。
※ファンの設定を「強」に合わせると暖房ヒーターも運転します。
- ②ファンの切替
「ファン」ツマミで「切」「弱」「強」を切り替えられます。
- ③室温の設定
「室温」ツマミをお好みの室内温度に合わせてください。
※設定温度になるように、ファンが自動運転します。
※22℃くらいが経済的な温度です。
※目盛は温度設定の目安としてご利用ください。
棚下等に設置した場合、設定温度がずれることがあります。

5 故障かな!?!と思ったら

修理を依頼される前に、この表に従って症状を確かめてください。

これらの処置で直らない場合や、この表以外の症状の時は、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。

症 状	調べるところ	対処方法
A.暖房器が温まらない	ブレーカーが「OFF」になっていませんか？	100V・200Vのブレーカーを「ON」にしてください。
	蓄熱ツマミが「切」または低い設定になっていませんか？	お好みの蓄熱量に設定してください。
B.温風が出ない	まず、Aの項目をご確認ください。	
	室温ツマミが「切」または低い設定になっていませんか？	お好みの室温に設定してください。
	ファンツマミが「切」になっていませんか？	「弱」または「強」に合わせてください。
	蓄熱は十分にされていますか？	蓄熱量の設定を確認してください。
	フィルターが詰まっていますか？	フィルターを清掃してください。
	吹出口、吸込口がふさがれていませんか？	障害物を取り除いてください。
	必要な離隔が確保されていますか？	P-8の離隔距離を確保してください。
C.部屋が暖まらない	A・Bの項目をご確認ください。	
D.わずかに、においや煙が出る	長時間蓄熱を止めていませんか？	ほこりや湿気で臭いが出ることがあります。
	試運転や初めて蓄熱運転された場合の臭いですか？	1～2回蓄熱運転すると消えます。
E.不規則な音がする	蓄熱運転や暖房運転時に出る音ですか？	筐体金属やヒーターの熱膨張や収縮、床との摩擦による音で異常ではありません。



6 据 付

6-1 据付時の注意事項

※電気工事店の方々への注意事項

- ①壁、カーテン、家具、棚等から所定の離隔を取った状態で設置してください。
(6-3据付位置決めに参照)
周囲を壁や棚で塞ぎ、十分な離隔が取られていないと故障の原因となります。また、家具や壁が変質・変色したり、火災の原因となる恐れがあります。特に左右の側面については、点検・修理作業に必要なスペースとなります。
- ②カーペット・ビニール系床材・畳の上には直接設置しないでください。
(6-3据付位置決めに参照)
- ③電気配線は必ず、本体付属の耐熱ケーブルをご使用ください。
(6-4電源の接続を参照)
- ④本体を組み立てるネジは確実に締め付けてください。
(6-5蓄熱レンガの組込を参照)
- ⑤断熱材は慎重に取り扱ってください。
(6-5蓄熱レンガの組込を参照)
断熱材を破損させたり、変形させた場合はそのまま使用しないでください。熱漏れ等により表面が高温になり、故障の原因となります。
- ⑥転倒防止ネジを必ず取り付けてください。
(6-6本体の固定を参照)
- ⑦設計あるいは建築段階で壁に補強板が敷設されていることを必ずご確認ください。
(6-6本体の固定を参照)
設置する暖房器の総重量を必ず確認の上、床補強を行なってください。
(9標準仕様を参照)
- ⑧チェックリスト(6-7参照)をご活用の上、据付工事を行なってください。
- ⑨位置決めなどでの目的で暖房器を移動する場合は、引きずらないで持ち上げて移動してください。床を傷つける恐れがあります。
- ⑩清掃について
レンガ組み入れ後、内部の清掃を必ず行なってください。
(施工時に出るレンガの粉が吹出部近くに残っていると、暖房器を動作させた時に吹出部から粉が出ることがあります。)

6-2 据付順序

- ①据付位置決め。
- ②電源ケーブル(付属)屋内配線との接続。
- ③本体の固定(転倒防止ネジ取付)。
- ④蓄熱レンガ組込。

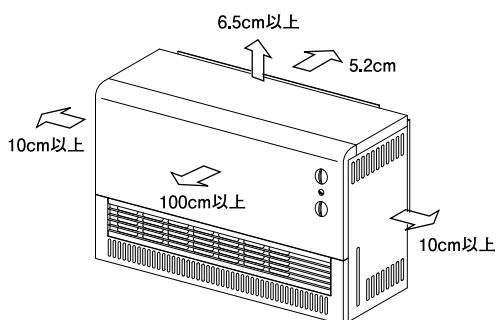
6-3 据付位置決め

● 本体据付位置の確認

壁・カーテン・家具・棚等に対して離隔を取ってください。十分な離隔が確保されていないと、壁・カーテン・家具・棚等が変色する恐れがあります。また、本体右側面の室温センサ部や本体前面の放熱グリル・吸込グリルを塞ぐと機器が誤作動（温度過昇防止器または室温センサが動作）し、機器等の故障の原因となりますので、特に注意してください。

【離隔距離】

オープン設置の場合



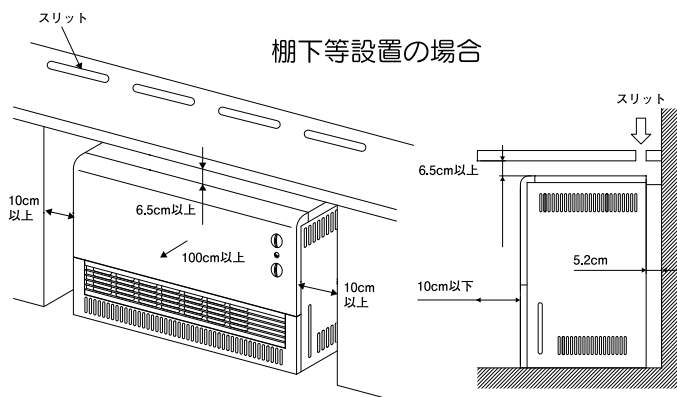
⚠ 注意事項

- ・カーペット・ビニール系床材・畳の上には直接設置しないでください。カーペット・ビニール系床材・畳の変色等が発生する恐れがあります。
- ・必ず板等を敷いた上に設置してください。その際、本体と敷板は木ネジで固定してください。敷板は各サイズオプション(別売り)で用意しています。(厚さ20mm~25mm)
- ・カーペット・ビニール系床材・畳は暖房器の前から10cm以上離してください。

⚠ 棚下等設置の場合

- ・上方6.5以上の離隔を取られても材質の状態などによって、棚板等が熱の影響を受け変形、変色する恐れがあります。
- ・スリット加工等、熱がこもらないように工夫することをおすすめします。

棚下等設置の場合



6-4 電源の接続

本体裏面に付いている200V用耐熱キャプタイヤケーブルと100V用耐熱キャプタイヤケーブルを電源ボックスの屋内配線と接続します。

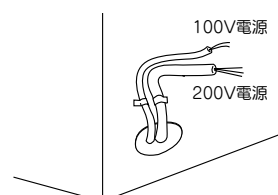
電気蓄熱暖房器それぞれ単独にブレーカーの取付が必要になります。

ブレーカーは、定格容量以上のものをご使用ください。(下表参照)

- ・アース線は必ず接続してください。
- ・ケーブル接続の際は、転倒防止金具に吊下げられている電源ケーブルの結束バンドを外してご使用ください。
- ・ケーブル配線は、本体背面に接触しないよう注意してください。

機種	電圧	本体電源ケーブル	ブレーカー容量	屋内配線の太さ(VV線)
UHSⅡ-2450	単相200V	HVCT	20A	1.6
UHSⅡ-3450		3.5mm ² ×3C	30A	2.6
UHSⅡ-4450		HVCT 5.5mm ² ×3C	30A	
ファン	単相100V	HVCT 0.75mm ² ×2C	—	—

[本体より約1.0m (100V・200Vとも)]

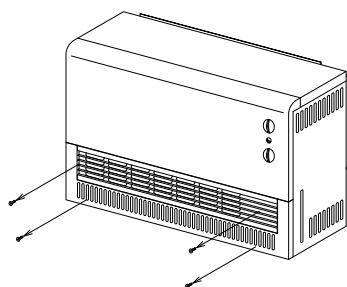


⚠ 注意

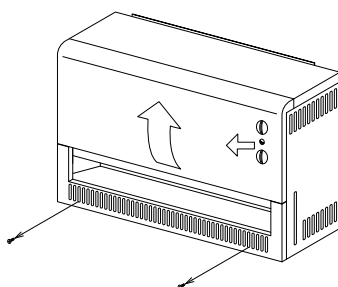
接続の際は200Vと100Vの配線を必ずご確認ください。
(200Vと100Vの配線を間違えて接続すると故障の原因になります。)

6-5 蓄熱レンガの組込

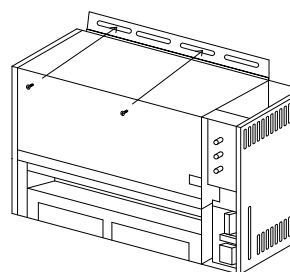
①吸込グリル、吹出グリルを外す。



②操作ツマミを手前に抜き、次に前板・天板（一体）を持ち上げて外す。



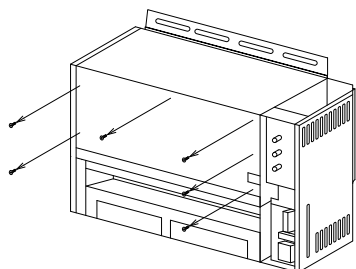
③本体の固定
(転倒防止ネジを取付ける。)



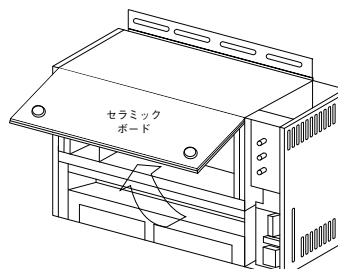
⚠ 注意

本体固定方法は6-6を参照してください。

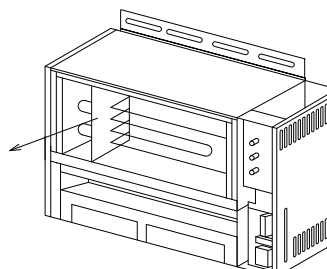
④内前板を外す。



⑤断熱材を外す。



⑥ヒーター固定用ダンボールを外す。



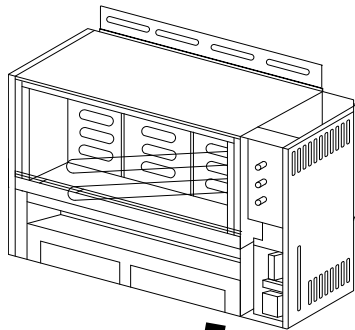
⚠ 注意

内前板に貼り合わせているマイクロサームは、はがさないでください。

⑦蓄熱レンガを組み込む。

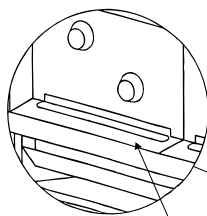
蓄熱レンガにはヒーターをはさむ溝があります。

それぞれのヒーターを前後からはさむように後側→前側の順に蓄熱レンガを組み込んでください。

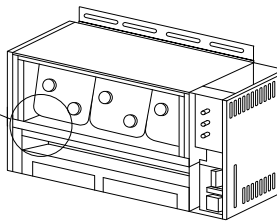


注意
後側のレンガを設置する際、レンガでヒーターを傷つけないように注意してください。

項 目	蓄熱レンガ数量
UHSⅡ-2450	6ヶ
UHSⅡ-3450	8ヶ
UHSⅡ-4450	10ヶ



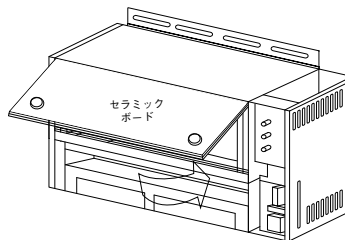
スリット



- 注意**
- (1) 蓄熱レンガで、スリットをふさがないでください。前板がふくらむ原因となります。
 - (2) レンガ組み入れ後、内部の清掃を必ず行なってください。

⑧断熱材を入れる。

セラミックボード上部を先に差し込み、セラミックボードの丸穴に指を入れ下部をすべらせながら入れます。



※マイクロサーム：白い袋に入ったパネル状の断熱材（厚さ25mm）

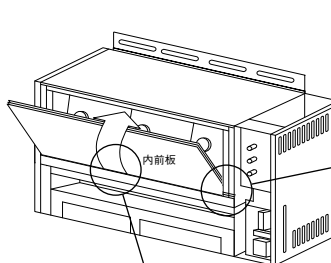
セラミックボード：白いボード状の板（厚さ6mm）



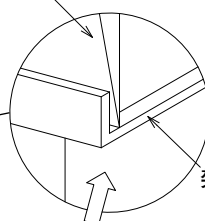
- 注意**
- (1) 断熱材を無理に押し込むと破損、変形することがありますのでご注意ください。
 - (2) 断熱材は必ずセラミックボードがレンガに接する様に組み込んでください。
 - (3) 断熱材は破損しやすいので、注意して組み立ててください。万が一、断熱材が破損した場合、機器の故障原因となる恐れがありますので、新品と交換の上、組み込んでください。

⑨本体を組立てる。

解体と逆の手順で組立ててください。



内前板



架台



注意：この表示が見えなくなるように板を差し込んでください。

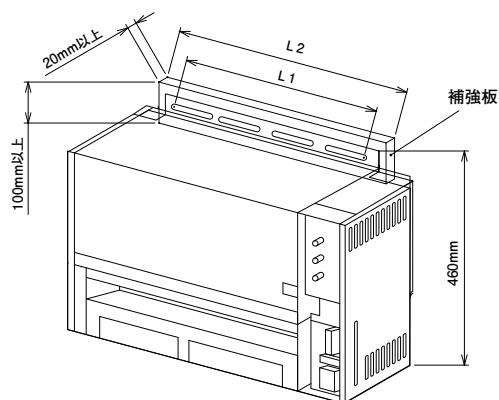
※内前板下部に印字されています。

内前板は必ず架台の内側に差し込んでください

6-6 本体の固定（転倒防止ネジ取付）

地震等による転倒を防止するため、付属の壁取付用木ネジを使用して確実に本体を壁に固定してください。

一般的な一戸建住宅で固定する場合を想定しています。高層マンションや高層団地などに設置する場合は、当社までご相談ください。



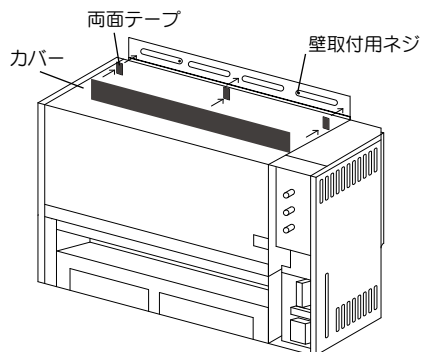
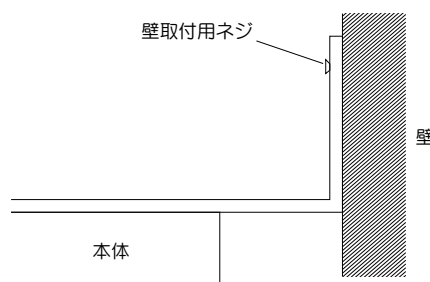
<し寸法>

- ・壁には必ず補強板を用意してください。
- ・下記表を参考にしてください。

機 種	L1寸法	L2寸法
UHSⅡ-2450	500mm	600mm以上
UHSⅡ-3450	645mm	745mm以上
UHSⅡ-4450	810mm	910mm以上

- ・本体を最適な位置に設置し、付属の壁取付用木ネジで止めてください。
- ・数量は壁取付用必要数量以上で固定してください。

項 目	壁取付用木ネジ
UHSⅡ-2450	2本
UHSⅡ-3450	3本
UHSⅡ-4450	3本



壁固定部のスリットにカバーを取り付けます。
（付属のカバーと両面テープを使用）

6-7 チェックリスト

項目	チェック内容	チェック欄
1	本体設置位置の確認。壁、カーテン、棚、家具等に対して十分離隔を確保したか。 (左右側面10cm以上 上方6.5cm以上 後方5.2cm 前方100cm以上)	
2	本体付属の耐熱ケーブルと屋内配線を確実に接続したか。 (100V、200V配線の接続間違いはないか)	
3	壁と本体を規定の壁取付用木ネジで確実に固定したか。 ※詳しくはP-11をご確認ください。	
4	レンガを組み込む際、蓄熱ヒーターを誤って曲げたりしていないか。 レンガは後側から組み込み、ヒーターを確実にレンガの溝に挟み込んだか。	
5	ヒーター絶縁用の碍子に割れや欠けはないか。 絶縁碍子は奥まで差し込まれているか。	
6	断熱材(マイクロサーム+セラミックボード)は、セラミックボード(6の薄い板)をレンガ側にして組み込んだか。 (マイクロサームが外側、セラミックボードがレンガに接する内側)	
7	断熱材を組み込む際、破損や変形はしていないか。	
8	内前板は、架台の内側に差し込んだか。また内前板下部に印字されている文字が見えなくなるまで差し込んだか。	
9	ネジの締め忘れ、ゆるみはないか。	

6-8 試運転

据付が終わった後、必ず試運転を行ない暖房器が正常に運転するか確認してください。

蓄熱される場合

蓄熱量の設定によっては、ご購入後初めて蓄熱された際に特有のにおいや水滴が出る場合がございますが、異常ではありません。

・においについて

においが気になる場合は、一度蓄熱量を「中」以上でご使用ください。においは数日で消えます。

※2シーズン目以降は、初蓄熱時のような特有のにおいは出ません。

・水滴について

初めから蓄熱量「大」で運転されますと内部から蒸発音が聞こえたりファン運転をすると水滴が落ちる場合がございます。これは湿気をレンガ・断熱材などが吸湿するために生じる現象であり、故障ではありません。

初めて蓄熱する場合やシーズン始めは、蓄熱量を「小」に設定して、蓄熱しながらファンを「強」に設定して運転することにより、暖房器から水が出てくる現象をおさえることができます。

①絶縁抵抗を測定してください

電気用品安全法に基づく技術基準により、暖房器の200V回路の絶縁抵抗値は1 MΩ以上(500V絶縁抵抗計にて)となっております。しかし、使用開始時や長期間放置された時は、蓄熱体などが結露により吸湿して、絶縁抵抗が低下(0.2MΩ以下)する場合があります。このような場合は、絶縁抵抗が1 MΩ以上に回復するまで蓄熱を実施してください。(漏電ブレーカーが動作した場合は、アースの接続をはずしてから蓄熱を実施し、絶縁抵抗回復後アース線を接続し直してください)。

②100V電源を通电し「ファン」ツマミを「弱」または「強」に合わせ、「室温」ツマミを時計回りに最大まで回し、ファンが回転し、風が出ることを確認してください。

③200V電源を通电し、「蓄熱」ツマミを「中」「ファン」ツマミを「切」にし、蓄熱ヒーター通电時に所定の電流(下表参照ください)が流れることを確認してください。確認後、「ファン」ツマミを「強」にし蓄熱ヒーター+暖房ヒーター通电時所定の電流が流れることを確認してください。

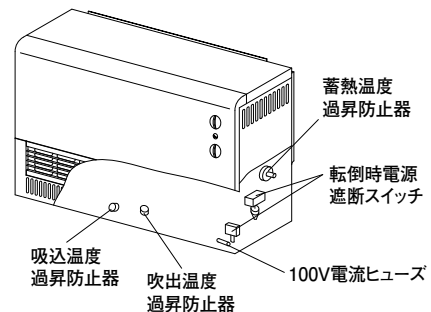
機 種	UHSⅡ-2450	UHSⅡ-3450	UHSⅡ-4450	備 考
電 流 (A)	5.0～6.1	7.2～8.8	9.0～11.0	蓄熱ヒーター通电時
	11.0～13.5	15.5～19.0	20.0～24.5	蓄熱+暖房ヒーター通电時

④試運転終了後は「ファン」ツマミを「切」、「室温」ツマミを「切」、「蓄熱」ツマミを「切」の位置に合わせてください。

7 補足説明

7-1 安全装置

本機には以下の安全装置が装備されております。



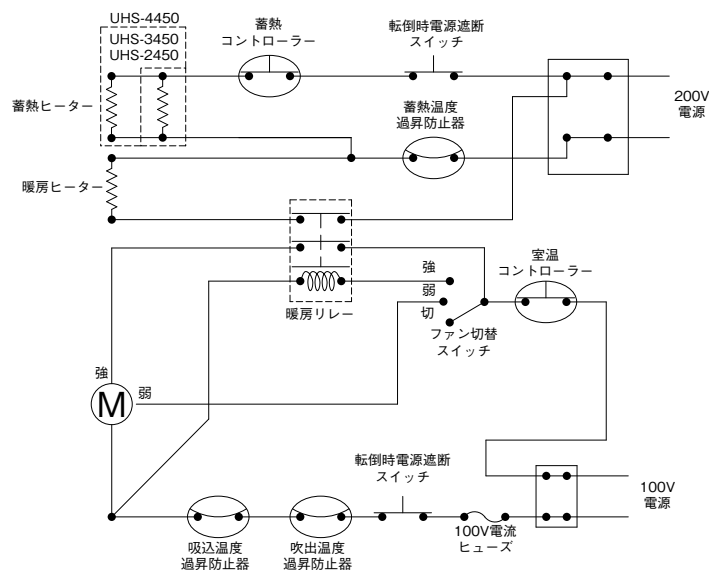
安全装置	動作条件	制御内容	復帰方法
蓄熱温度過昇防止器	120℃	蓄熱停止	グリル・前板を外し、リセットスイッチを押す。
吹出温度過昇防止器	120℃	ファン運転停止	自動復帰
吸込温度過昇防止器	100℃	ファン運転停止	自動復帰
100V電流ヒューズ	1 A	ファン運転停止	グリルを外し、ヒューズ交換
転倒時電源遮断スイッチ	手前25°以上傾斜	ファン運転停止	元の状態に戻す
	手前6°以上傾斜	蓄熱停止	

※上記の復帰方法は工事業者の作業になります。



注意：温度過昇防止器が作動した場合及び100V電流ヒューズが切れた場合は、販売店又は当社までご連絡ください。

7-2 電気回路図



8 点検・お手入れ、アフターサービス

点検・お手入れ

暖房器を永く快適にご使用していただくために、ときどきお手入れが必要です。

△ 点検、お手入れの際は、1～2ページの注意事項を守ってください。

- ① 暖房器前面下部の空気吸込口は綿ボコリがたまりやすいので、年に一度定期的に清掃することをおすすめします。ただし、暖房運転中はやめてください。200Vブレーカーを「OFF」にして、暖房器を冷やしてから清掃をしてください。ほこりがたまった状態していると暖房能力が低下したりファンの寿命が短くなる場合があります。
- ② 本体表面のほこりや汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。ベンジンやシンナー等は表面の塗装を傷めますので、使用しないでください。
- ③ 末永く安心してお使いいただくために、3シーズンに1回程度、お買い上げの販売店または当社に定期点検依頼されることをおすすめします（有料）。

アフターサービスについて

- ① この商品の保証書は、裏面に添付しております。保証書は必ず「お買い上げ年月日」と販売店名等、所定事項をご確認の上、大切に保管してください。
- ② 保証期間中に修理を依頼される時は、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。保証書の内容に従って修理いたします。
- ③ 保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。有償修理いたします。なお、交換用部品は本製品の生産終了後も10年間は供給いたします。
- ④ 製品に異常のある場合、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対にやめてください。大変危険です。
- ⑤ 修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせください。

9 標準仕様

項 目		UHS II-2450	UHS II-3450	UHS II-4450
蓄 熱 方 式		22時間通電対応型 ※融雪電力B(15分断続延べ2時間カット)専用機種		
暖 房 方 式		ファン強制放熱型		
定格 容量	単相200V	2.45kW	3.45kW	4.45kW
	単相100V	15W	15W	22W
寸 法	横 幅	712mm	867mm	1,022mm
	高 さ	460mm		
	奥 行	362mm (壁固定金具含む、本体のみ310mm)		
重 量	本 体	38kg	46kg	54kg
	蓄熱レンガのみ	42kg	56kg	70kg
	総 重 量	80kg	102kg	124kg
蓄熱レンガ数量		6ヶ	8ヶ	10ヶ
材 質	蓄熱レンガ	酸化鉄系		
	断熱材	シリカ・アルミナ系断熱材		
制 御	蓄熱量	切、小～大無段階設定		
	室内温度	12～38℃無段階設定		
ファン切替		切・弱・強3段階切替		
安 全 装 置		○蓄熱温度過昇防止器 ○吹出温度過昇防止器 ○吸込温度過昇防止器 ○電流ヒューズ (100V 1A) ○転倒時電源遮断スイッチ		
連続通電時 kW (MJ/kcal)		2.45kW (8.8MJ/2,107kcal)	3.45kW (12.4MJ/2,967kcal)	4.45kW (16.0MJ/3,827kcal)
4h断続通電時 kW (MJ/kcal)		2.20kW (7.9MJ/1,896kcal)	3.10kW (11.2MJ/2,670kcal)	4.00kW (14.4MJ/3,444kcal)
本体カラー		ホワイト系		

暖房能力は試験値です。ヒーター容量の誤差により多少異なる場合があります。

■仕様の一部をおことわりなく、変更することがあります。

当社標準仕様の製品は、一般財団法人ベターリビング（BL）の「優良住宅部品」の認定を受けており、BLシールが貼付されています。

優良住宅部品には、住宅部品及び施工の瑕疵に係る担保責任保険及びこれらの瑕疵に起因する損害に係る賠償責任保険が付されています。

当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙が貼付されている部品については、BLのBL保険制度により、保険金が支給されます。

優良住宅部品は、設置する場所（適用範囲）を設定して認定基準等が規定されております。そのため、優良住宅部品を適用範囲外（P-1～P-2を参照ください）で使用される場合は、優良な部品としての性能等が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品とはなりませんので、ご注意ください。

なお、当社の特殊仕様の製品にはBLの認定を受けていないものもありますのでご注意ください。

BL保険制度の詳細についてはBLのホームページ（<http://www.blhp.org/>）を、当住宅部品の施工要領の詳細については当製品の取扱説明書・据付説明書を御覧ください。

電気蓄熱暖房器 保証書

(型式)	(お買い上げ年月日) 年 月 日
(製造番号)	お客さま (ご住所)
(お買い上げ店名)	(お名前)

1. お買い上げになった日の翌日から起算して、ヒーターは3年間、蓄熱用レンガは5年間、その他電気部品と他機能部品は2年間、製造上の欠陥により故障のあった場合には無償で故障部品の修理や交換を致します。
※当製品での交換部品の供給可能な期間は生産中止後10年間とします。
2. 次の場合は保証期間内であっても保証の責任を負いません。
(1) 誤った使用をされた場合
(2) 不当な修理及び改造をされた場合
(3) 地震、火災、その他天災によって生じた故障あるいは損傷
(4) 保証書のご提示がない場合
3. 保証修理、交換後の保証期間は、最初の保証期間の残り期間と致します。
4. 故障が生じた場合には、お買い上げ店又は当社までご連絡ください。尚、離島及び離島に準じる遠隔地へ出張修理は、出張に要する実費を申し受けます。
5. 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
6. 万一当社又は設置工事施工者が倒産等している場合、当社等による瑕疵保証責任等に代わる措置が財団法人ベターリビングから受けられます。



株式会社 **ホクエイ**

本 社／〒007-0882 札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号

ホームページ <http://dankichi-kun.com>

お問い合わせ 北海道、東北、関東 ☎0120-881-935

上記以外 ☎0120-494-115